月刊
福来朗
ふくろう
平成１８年９月
第８８号

９月に入ってずいぶん過ごしやすくなりました。夏の暑さで消耗した体力を取り戻す季節です。気候のよい日にはお散歩したり、お買い物に出かけたりと気分転換も大切かと思います。

発　行
名古屋市名東区
猪子石原 1-1501
老人保健施設
いのこしデイルーム
052(777)5650 (代)
052(777)5695（直）
毎月 15 日発行

誕生日おめでとうございます

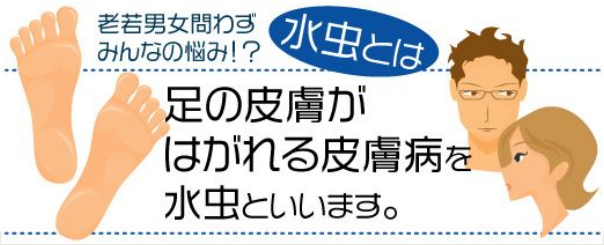
乙部福子さん　　今尾鉄治さん　　小澤正昭さん

林レツさん　　吉田ヨシ子さ　　小川義明さん

お願い

１１月の作品展に向けて、皆様に懐かしいお写真をご用意していただきたく、ご家族の方にも是非ご協力をお願い申し上げます。ご利用者さまの若い頃のお写真や懐かしい風景など何でも結構です。またアルバムのままお持ちいただいても構いません。思い出のお写真を台紙に貼ってきれいに飾りつけなどをして、皆さんで懐かしく昔を振り返ってお話しができたら楽しいかと思います。お手数をおかけいたしますが、何卒ご協力をお願い申し上げます。

１０月に製作にとりかかる予定ですので、ご準備できた方から随時、職員にお渡し下さいませ。



水虫　　その１

水虫とは一般的に「足にできて、皮膚がはがれる」皮膚病の総称です。このような症状は足白癬によるものが最も多いため、「水虫＝足白癬」と考えられることもあります。足白癬とは皮膚糸状菌というカビ（白癬菌）が皮膚の角層に入りこんで、繁殖していることをいい、足以外にも感染することがあります。カビは高温多湿の環境で活発に繁殖しますので、水虫は夏になると症状が悪化することを繰り返します。

水虫の原因が白癬菌によるものかどうかは、白癬菌が患部にいるかどうか検査をして初めて決まります。検査では普通はカセイカリ鏡検法が用いられます。検査材料を取るときの痛みもなく、検査結果も１０分ほどでわかります。

また、「水虫＝足白癬」と考えている皮膚科医もいるため、水虫の治療に皮膚科を受診したら、本当は足白癬によるものではなかったにもかかわらず「足白癬」の治療をされたために治らない、といったような食い違いが起こるケースもあります。